

解答

- 問一 A 2 B 6 C 4 D 1
問二 なぜなら、 ↓ 下降する。
問三 木の剛性
問四 トウヒとカエデ以外
問五 材質
問六 風土性
問七 日本のヒノキ
問八 生き物
問九 改良木材
問十 ヨコ割りの総合的な評価法で見ると、上下の偏りがなく総合的に優れているということ。
問十一 使い手しだいで名品にも駄作にもなるということ
問十二 寿司はヒノキの一枚板の上で食べたいと望むこと
問十三 E 3 F 7 G 5 H 6 I 1 J 2 (※I・Jは逆でも可)
問十四 表層の見てくれが美しいというだけで一等材とし、価格がべらぼうに高くなること
問十五 心が休まること
問十六 木
問十七 室内と戸外につながりがあり、自然に溶け込む住まいに心の安らぎを感じる美意識や、仏教の無常観にみられるような、自然も社会も常に移り変わるものと悟って、その法則にさからわずに暮らしていく生き方。
問十八 a 難(くない) b 名器 c 補(い) d 貴族 e 折箱 f 設計
g 容積 h 寒暖 i 回復 j 密接

解説

- 問十七 木と深く結びついた日本の「木の文化」について問われています。「室内と戸外につながり」があり「自然の中に溶け込む」だ住まいに心の安らぎを感じること、また、「仏教の無常観」「自然も社会も常に移り変わるものと悟っていた。その法則にさからわないで暮らしていくのが、日本人の生き方」といった部分に着目し、まとめましょう。